

不言実行 有言実行は 信頼のもと
有言不実行は 信頼を失うもと
過ぎた有言実行は 恨みのもと

私たちの周りには、いつも誰かがいて、いつも誰かと話しをしたり行動を共にしています。何も言わないが、黙々と自分のやるべきことに取り組み、あの人に任せておけば心配ない、あの人に相談すれば安心であるといわれる人がいます。しかし、それを認め、評価してくれる人の数は多いとは言えません。つき合いが長ければ分かってもらえますが、これは非常に残念なことです。反対に、話したことを実行し、結果を出し、周りの人から大きな信頼を得て、後の成果を、より大きなものになし得ていることが多くある事実を、私たちは知っています。

「不言実行」も「有言実行」も、その人なりの生き方で大切なことですが、「有言実行」であることが、世の人から高く評価されることが多いことを認識して生きていった方が良いと思います。ただし、人それぞれですから、自分のこれまでの生き方を変えることはなかなか難しいものと考えています。

中には、話しは上手いが、行動の伴わない人がいることも世の常であると言えます。同じ失敗を何度繰り返しても、気がつかないでいる人もいます。失敗をした時に、その時は後悔しても長続きしない人もいます。また、言うことも言うし、為すべきことも為すが、周りのことを考えず、自分の言動が正しいもの、行動が確かなものであると独りよがりになっている人もいます。いずれにしても、人の信頼を失い、人に恨まれることは避けなければなりません。

自分に対する評価は、自分では出来ません。加えて、何かを為そうとするとき、周囲の人たちの助けや協力や支援があれば、より良い成果と結果を得ることが出来ます。このことを認識した生き方をすることが大切です。

これは、自分の能力と生き方をいかせるだけではなく、周囲の人たちの能力と生き方を活用できることになるからです。明日の自分の生き方につながっていく力になるからです。

